

あいつしん地区11年間のあきな

○ 物価の変動

(西成署資料)

	36年	47年1月
人 口	25,000人	42,000人
日雇いの労働者数	約 10,000人	18,000人
簡易宿泊所	110軒	200軒
同 料 金	10~200円	130~1500円
立 飲 の 店	約 60軒	164軒
メシ (大)	40円	70~100円
メシ (中)	30	60~60
メシ 汁	10	30
うどん	20	60~90
カレーライス	40	130~140
焼き魚 (アジ)	10	60~80
バクダン (-合)	30	40
焼酎 (-合)	10~20	40~60
二瓶酒 (-合)	30	80
景カ団	10/1人	30/1人

○ 46年宿泊所の実態

種 別	戸数	収容能力
簡易宿所	220	22,000人
共同住宅	2	330
日松パーク	46	2,450
一軒パーク	246	10,600
ベラック	24	-
計	538	36,000

種 別	最低	最高	利用費 30日以内
1層	130	300	200
2 "	150	400	250
3 "	200	1000	400
4.5 "	330	1300	500
4.5層以上	380	1400	500
ベラック	100	250	150

平均的労務者は、1日2000円までが代を払い。

300日の食費が24000円とまには1000円くさいの酒代を付う。そして収入は日当最低2000円、P/V1日250円。

日給3000円 → $3000 \times 25日 = 75,000円?$

月給は $< 3000円 \times 10日 = 30,000円 >$ であり、とまにはもっと大きい。雨が降ったら仕事に出勤、金でたまら飲んで寝るだけ。この日は、日当が何万円に落ちて同じ。

たしかに食費は収入の多寡によって決まるものではない。ほんとうの食費は、将来を計算して生活する能力をホロボロに食いつぎてしまう。毎日、毎日、自分の食費を“再生産”して行くが土人だ生活。やうなると、周囲からどんな救済の手がさしのびられようと、もう助け出せない。

そして、不況の波が押し寄せ、夜は暑でいぬむせむ。周囲から冷たい目で見られる。……うのとま爆発するものが暴動のパターンだ”。

- 平均的ドヤ代
 - $200円 \times 31 = 6200円$ (14%)
 - $400円 \times 31 = 12400円$ (31%)
 - $500円 \times 31 = 15500円$ (45%)
 - (最高) $1500円 \times 31 = 46500円$
- 大阪市管住宅
 - 料程 $7600円 \sim 14700円$ (3DK)
 - 料程 $4600円 \sim 10000円$ (2DK)

○ 日本住宅公団 賃貸空家

1K(単身用)	2800 ~ 7800円
1DK	3800 ~ 16900円
2K-2DK	7200 ~ 23600円
3K-3DK-2DK	10100 ~ 26500円
市街地 1DK	10600 ~ 17500円
市街地 2K-2DK	17400 ~ 23600円
市街地 3K-3DK	19700 ~ 28900円

賃貸住宅

1DK	16200 ~ 17900円
2DK	23600 ~ 28100円
3DK-3K	24000 ~ 26900円

以上の値段(月額)を比較していかには、簡宿業者がもうけていよかがわかる。

従って、住家型住宅の多量確保がなければ、一日の労賃が少々あがっても、あるいはん地区から抜けだせぬ

$$3000円 \times 10 \sim 15日 = 30,000 \sim 45,000円$$

の収入で1ヶ月を過ごすのであろう。

オノノ音 参考文献

- 1 スラウ対面Ⅰ～Ⅳ (編者 細見)
- 2 あいソム対面関係新聞記事 Ⅰ～Ⅲ (編者 細見)
- 3 大阪市民生事業の歴史
- 4 浪速区史
- 5 西成区史
- 6 あいソム野暮組合 (編者 細見)
- 7 あいソム地区簡易宿所調査
- 8 あいソム地区 (西成警察署)
- 9 事業概要 (厚生相談所)
- 10 山谷 - 都市及乱の歴史
- 11 現代精神医学
- 12 現代日本の歴史 Ⅰ～Ⅳ
- 13 日本の貧困地帯 上下
- 14 日本の下層社会
- 15 釜崎無宿
- 16 貧乏物語
- 17 社会衰史
- 18 現代の貧困と社会保障

- 19 どんぐりのこども
- 20 日本の都市下層社会
- 21 釜ヶ崎から明日がある
- 22 釜ヶ崎を語り崎論播所
- 23 大阪中話
- 24 釜ヶ崎はウタミの故郷
- 25 社会病理学と都市症候
- 26 社会病理学
- 27 住所得層と福祉政策
- 28 ここに光を求めて
- 29 差別の論理
- 30 アルコール中毒
- 31 精神医療と現代
- 32 精神科医三代
- 33 都市病理の横断
- 34 増訂都市の社会病理
- 35 社会福祉事業辞典
- 36 カマラゴ里の失業対策事業
- 37 山谷の概況と城北福祉センター

- 38 士人抄
- 39 山谷地域における簡易宿泊世帯の住生活事情
- 40 事業概要 (545) 東京都城北福祉センター
- 41 寿町ドヤ街地区改良計画作成のために
- 42 ドヤ街の発生と形成 - 格差地帯について -
- 43 山谷の概況と城北福祉センター (541)
- 44 事業概要 (541 ~ 46) 愛隣会館
- 45 釜ヶ崎地区における公衆衛生の実態
- 46 大阪市生野区生活館、愛隣会退居世帯追跡調査
- 47 容、生活館関係資料 (編者 細見)
- 48 事業のあじまし (544, 45) 中央厚生相談所
- 49 西成区福祉地図
- 50 あいりん
- 51 愛隣会館センター パンフレット
- 52 スラムについて
- 53 スラムからの移転
- 54 保健所のあゆみ
- 55 あいりんの教育 (1 ~ 9)
- 56 大阪市社会医学研究会 パンフレット

- 57 四木地区日雇労働者の就業と福祉のために
- 58 生活保護施設における収容者の実態
- 59 保護施設の問題研究
- 60 愛隣地区概要
- 61 愛隣地区綜合実態調査報告
- 62 その他